

## 慶良間諸島をつくる岩石

目の前の岩は、黒色千枚岩です。約1億年前に暖かい海の海底に堆積した泥が後に固まり、地下の圧力を受けて千枚岩と呼ばれる層になったものです。30°ほどに傾いて見える地層は、大地の大きな力を物語っています。

慶良間諸島では、沖縄らしい琉球石灰岩が見られる場所はどこでも、他に砂岩や緑色片岩といった岩から成り立っています。

道端の岩が、慶良間諸島の起源を呼び起こしてくれます。

砂岩は、座間味島のチシ展望台などで見られます。緑色岩類は、慶留間島に多く見られ、阿嘉大橋の近くで見ることができます。サンゴ礁に由来する琉球石灰岩は、渡嘉敷島の海岸にわずかに見られるのみで、慶良間海域の海底80m前後に存在しています。